



平成 22 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 フマキラー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大下 一明
(コード番号 4998 東証第 2 部)
問合せ先 取締役管理本部長 小谷 眞弘
(T E L. 0829-55-2112)

第三者割当による新株式発行、主要株主である筆頭株主の異動 及び「その他の関係会社」の異動に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月 13 日開催の当社取締役会において、エステー株式会社（以下、「エステー」といいます。）との間で、資本業務提携契約を締結すること及びエステーを割当先として第三者割当による新株式発行（以下、「本増資」といいます。）を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本増資及び資本業務提携に伴い、主要株主である筆頭株主の異動及び「その他の関係会社」の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

なお、エステーとの資本業務提携につきましては、本日、エステーと共同で開示しております「エステー株式会社とフマキラー株式会社の資本業務提携に関するお知らせ」をご参照下さい。

記

I 本増資について

1 募集の概要

- | | |
|-----------------|---|
| ① 発行期日 | 平成 22 年 6 月 4 日 |
| ② 発行新株式数 | 普通株式 3,580,000 株 |
| ③ 発行価額 | 1 株につき 451 円 |
| ④ 調達資金の額 | 1,614,580,000 円 |
| ⑤ 募集又は割当方法（割当先） | 第三者割当の方法により、エステーに 3,580,000 株を割り当てます。 |
| ⑥ その他 | 上記①乃至⑤については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。 |

2 募集の目的及び理由

(1) 募集の目的

本増資による株式の募集で調達した資金を新しい開発棟及び生産設備であるブレーンズ・パークの建設による研究開発及び効率的な生産体制構築のための資金の一部に充当する予定です。

本日、開示しております「ブレーンズ・パーク建設について」に記載しておりますとおり、当社の開発棟は築 45 年が経過して老朽化しており、新たな試験設備を設置することによる

新商品開発力の更なる強化が課題となっております。当社の競争力の源泉は「商品力」にあり、今後の長期的な「商品力」向上を実現する新しい開発棟及び生産設備であるブレーンズ・パークを建設することが必要と考えております。なお、本増資による投資は、ひいては、エステーとの業務提携の推進にも寄与するものと考えております。

(2) 第三者割当による資金調達を選択することとした理由

ブレーンズ・パークの建設は当社の中長期的な成長のために実施するものでありますが、投資内容と当社の財務戦略を踏まえて検討いたしました結果、永年友好的な関係を築いてきたビジネスパートナーであるエステーを割当先とする増資を実施することといたしました。

当社事業は、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高が上半期を中心に多く計上され、季節や天候の変化により売上高や営業利益が偏る季節変動要因があり、下半期の運転資金の多くを有利子負債による短期の資金調達で賄う財務構造となっております。こうした特殊性を踏まえて同業者等との財務比較等を行い、検討した結果、当社の自己資本比率は相対的に低く、金融機関からの融資枠を運転資金調達のために確保しておく必要があること等に鑑み、当社の財務戦略上、一部を資本性資金で調達することを決定いたしました。

本増資の割当先であるエステーとは、永年に亘り取引関係があり、営業・開発・調達・物流等で補完関係にあります。そこで、今般、ブレーンズ・パークの建設を機にエステーとの間で更に一步踏み込んだ業務提携関係を構築することが両社の企業価値向上に資するものと判断し、エステーと資本業務提携を行うことを合意しました。なお、エステーとの資本業務提携につきましては、本日、エステーと共同で開示しております「エステー株式会社とフマキラー株式会社の資本業務提携に関するお知らせ」をご参照下さい。

また、本増資により当社株式の希釈化が生じることになりますが、以上のとおり、本増資は当社の企業価値向上及び株主価値の増大に資するものであり、結果として既存株主の皆様への利益向上にも資するものと判断しております。

3 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金の総額	1,614,580,000 円
発行諸費用の概算額（注）	87,560,000 円
差引手取概算額	1,527,020,000 円

（注） 発行諸費用の内訳はアドバイザー手数料、弁護士費用、登記費用及びその他諸費用です。うち、約63,000,000円をフィナンシャルアドバイザー（株式会社みずほ銀行）に支払う予定です。なお、フィナンシャルアドバイザーの業務には、資金調達全般に関するアドバイスの他、設備投資並びに資本業務提携の候補先の検証に関するアドバイスを含んでおります。

また、発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な用途

本増資により調達する資金は、当社広島工場内で建設予定である開発・工場棟（ブレーンズ・パーク）の建設による研究開発及び効率的な生産体制構築のための資金に全額充当する予定です。（詳細は、本日開示しております「ブレーンズ・パーク建設について」をご参照下さい。）なお、支出実行までの資金管理は、当社開設の銀行預金口座にて行います。

また、以下の内容のとおり、ブレーンズ・パークの建設による研究開発及び効率的な生産体制構築のための資金は総額約 26 億円を予定しており、残額は借入金で充当する予定です。

具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
ブレーンズ・パーク建設費用	1,600	平成 22 年 9 月～平成 24 年 6 月
研究開発設備及び生産設備費用	900	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
移設費用（概算）	100	平成 22 年 9 月～平成 23 年 12 月

4 資金用途の合理性に関する考え方

ブレーンズ・パーク建設は、新商品開発力の更なる強化と、今まで以上の高品質及びコストダウンの実現、並びに、生産能力の増強等による将来に亘る当社の収益力向上を通じて、企業価値の向上及び株主価値の増大に貢献するものと考えております。したがって、上記の資金用途は、既存株主の皆様にとっても合理性があるものと考えております。

5 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

払込金額につきましては、本増資に係る取締役会決議日の前営業日の終値 440 円、並びに、前営業日までの 1 ヶ月間（平成 22 年 4 月 13 日から平成 22 年 5 月 12 日）、3 ヶ月間（平成 22 年 2 月 12 日から平成 22 年 5 月 12 日）及び 6 ヶ月間（平成 21 年 11 月 13 日から平成 22 年 5 月 12 日）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値の各単純平均値 457.17 円（1 ヶ月）、462.32 円（3 ヶ月）、451.30 円（6 ヶ月）等を参考に、エステーと協議した結果、1 株 451 円といたしました。上記払込金額は、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の、本増資に係る取締役会決議日の前営業日の終値 440 円から、2.50% のプレミアムを付した金額となります。また、本増資に係る取締役会決議日の前営業日までの上記各期間の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値の各単純平均値と上記払込金額とを比較したディスカウント率は、1 ヶ月間につき 1.35%、3 ヶ月間につき 2.45%、6 ヶ月間につき 0.07% となります。したがって、上記払込金額は、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の、本増資に係る取締役会決議日の前営業日の終値、並びに本増資に係る取締役会決議日の前営業日までの 1 ヶ月間、3 ヶ月間、及び 6 ヶ月間の終値の各単純平均値のいずれと比較してもディスカウント率が 10% 未満となります。

当社は、上記のとおり、上記払込金額は本増資に係る取締役会決議日の前営業日の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値に 0.9 を乗じた額以上の価額であり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠していることなどから、上記払込金額は割当先に特に有利な金額には該当しないと判断しております。

払込金額につきましては、社外監査役2名を含む本増資に係る取締役会に出席した当社監査役4名全員が、特に有利な払込金額には該当せず適法であると考えてる旨の意見を表明しております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本増資により発行する株式の募集規模は、発行済株式総数の12.18%であり、一時的には株式の希薄化を生じますが、調達した資金をブレーンズ・パーク建設等の投資に充当することにより、新商品開発力の更なる強化と、今まで以上の高品質及びコストダウンの実現、並びに、生産能力の増強等を通じて、将来に亘り当社の収益性の向上に寄与することが見込まれるとともに、当社の財務体質強化にも繋がるものと考えております。

以上の理由により、企業価値、株主価値の向上に寄与するものと考えてることから、今回の募集規模は合理的であると判断しております。

6 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

①名称	エステー株式会社	
②所在地	東京都新宿区下落合一丁目4番10号	
③代表者の役職・氏名	代表執行役社長 鈴木 喬	
④事業内容	消臭芳香剤・防虫剤・手袋・除湿剤等製造販売	
⑤資本金	7,065,500千円(平成22年3月31日現在)	
⑥設立年月日	昭和23年8月31日	
⑦発行済株式数	29,500,000株(平成22年3月31日現在)	
⑧決算期	3月31日	
⑨従業員数(連結)	611人(平成22年3月31日現在)	
⑩主要取引先	株式会社Paltac、株式会社あらた	
⑪主要取引銀行	株式会社みずほ銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行	
⑫大株主及び持株比率 (平成22年3月31日現在)	エステー株式会社	25.92%
	株式会社シャルダン	19.41%
	日本生命保険相互会社	5.66%
	みずほ信託銀行株式会社 退職給付 信託 みずほ銀行口 再信託受託者	2.99%
	資産管理サービス信託銀行株式会社	
	鈴木 喬	2.78%
	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.30%
	鈴木 明雄	1.52%
	有限会社キャレーヌ	1.46%
	株式会社損害保険ジャパン	1.41%
	藤井 弘	1.36%

⑬当社と割当先との間の関係				
	資本関係	エステーは、当社株式 1,400,000 株を保有しております。また、当社はエステー株式 150,000 株を保有しております。		
	人的関係	両社の間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。 なお、資本業務提携に伴い、当社はエステーより、本年 6 月開催予定の定時株主総会における選任を経て、取締役 1 名の派遣を受ける予定です。		
	取引関係	当社はエステーより、一部製品の製造を受託しています。また、当社はエステーの連結子会社に販売促進サポート業務の一部を委託しています。 また、当社の連結子会社であるフマキラーインドネシア株式会社はエステーよりライセンスを取得し、芳香剤を製造・販売しています。		
	関連当事者への該当状況	エステーは、当社の関連当事者には該当しません。また、エステーの関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。なお、本増資及び資本業務提携に伴い、エステーが当社の「その他の関係会社」に該当することとなることについては、「Ⅱ 主要株主及び「その他の関係会社」の異動（予定）について」をご参照下さい。		
⑭当該会社の最近 3 事業年度の連結経営成績及び連結財務状態（単位：千円）				
	決算期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期
連結純資産		19,144,349	19,029,432	19,965,831
連結総資産		28,392,518	27,616,579	29,029,435
1 株当たり連結純資産 (円)		853.90	853.81	892.46
連結売上高		47,005,572	44,879,477	43,545,704
連結営業利益		3,218,744	2,492,908	2,245,727
連結経常利益		2,771,537	1,989,313	1,946,873
連結当期純利益		1,295,493	1,076,331	1,119,319
1 株当たり連結当期純利益 (円)		54.08	49.32	51.25
1 株当たり配当金（単体） (円)		22.0	22.0	22.0

なお、エステーは、株式会社東京証券取引所市場第一部に上場している当社の既存大株主であり、反社会的勢力等には該当せず、また、反社会的勢力等とは一切関係がないものと判断しております。

(2) 割当先の選定理由

割当先であるエステーは、当社と同じ家庭用日用品メーカーであり、顧客層は重複しております。そして、エステーは消臭芳香剤・防虫剤・手袋・除湿剤等の製造販売に強く、製品ラインナップを拡大しつつ事業拡大を図っております。一方で、当社は殺虫剤・園芸用品等の製造販売を主力としており、両社が得意とする事業領域は異なっております。

また、エステーが製品の販売力の高さに特に定評があるのに対し、当社は研究開発を重視する技術志向の組織風土を背景とする「商品力」に比較的強みをもっております。そのため、当社が開発した製品をエステーが販売したり、エステーの関係会社による販売支援を受けたりといった取引関係が継続しているなど、製品開発から販売に至るまでの過程について見ても、両社は相互補完的な関係にあります。

以上のことから、営業・開発・調達・物流等の各分野において、両社の強みをより一層活かすべく、本日、エステーとの間で資本業務提携契約を締結することによって、営業面における販売促進サポート業務の共同取組み強化や開発面における両社の得意分野を活かした共同研究開発など、更に一步踏み込んだ業務提携関係を構築することとし、かかる業務戦略上重要な会社であるエステーに対して当社の株式を第三者割当の方法によって割り当て、同社との協力関係をより確固たるものとするのが、当社の企業価値及び株主価値を向上するために最善の方策であると判断いたしました。

なお、エステーとの業務提携の内容につきましては、本日、エステーと共同で開示しております「エステー株式会社とフマキラー株式会社の資本業務提携に関するお知らせ」をご参照下さい。

(3) 割当先の保有方針

割当先のエステーは、当社のビジネスパートナーとして永続的な取引関係を構築することを前提に割り当てを受けた株式（以下、「割当株式」といいます。）について長期保有する方針です。なお、当社は、割当先から、払込期日より2年以内に割当株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに当社にその内容を書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当先であるエステーから、自己資金をもって本増資に対する払込みを行う旨の説明を受けております。当社は、割当先の直近の有価証券報告書（平成21年6月18日提出）及び四半期報告書（平成22年2月12日提出）、並びに決算短信（平成22年4月28日公表）に記載の売上高、総資産額、純資産額、現預金等の状況を確認した結果、本増資の払込みに要する資金の状況として問題はないと判断しております。

7 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 22 年 3 月 31 日現在）		募集後	
アース製薬株式会社	11.76%	エステー株式会社	15.10%
大下 高明	9.13%	アース製薬株式会社	10.48%
エステー株式会社	4.76%	大下 高明	8.14%
株式会社みずほ銀行	3.95%	株式会社みずほ銀行	3.52%
株式会社広島銀行	3.91%	株式会社広島銀行	3.49%
大下産業株式会社	3.23%	大下産業株式会社	2.88%
住友化学株式会社	2.95%	住友化学株式会社	2.63%
大下 俊明	1.57%	大下 俊明	1.40%
日本生命保険相互会社	1.55%	日本生命保険相互会社	1.38%
株式会社もみじ銀行	1.54%	株式会社もみじ銀行	1.37%

8 今後の見通し

本増資が当社連結業績に与える影響につきましては現時点で未定ですが、本件が当社連結業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合、速やかに適時開示いたします。

9 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

（単位：千円）

	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期
連結売上高	20,729,989	21,261,580	23,792,390
連結営業利益	1,238,380	965,066	1,185,949
連結経常利益	950,341	575,444	1,305,271
連結当期純利益	593,557	508,314	649,554
1株当たり連結当期純利益(円)	20.25	17.35	22.19
1株当たり配当金(円)	7.0	8.0	10.0
1株当たり連結純資産(円)	210.76	203.79	224.71

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成 22 年 3 月 31 日現在）

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	29,400,000 株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0 株	-
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0 株	-
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	0 株	-

(3) 最近の株価の状況

a) 最近3年間の状況

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
始値	348円	375円	397円
高値	419円	462円	527円
安値	264円	280円	390円
終値	374円	393円	467円

b) 最近6ヶ月の状況

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
始値	439円	431円	451円	457円	453円	467円
高値	449円	447円	464円	462円	483円	474円
安値	405円	413円	444円	438円	452円	447円
終値	430円	440円	455円	453円	467円	457円

c) 発行決議日前営業日（平成22年5月12日）における株価

始値	440円
高値	446円
安値	440円
終値	440円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

10 企業行動規範上の手続に関する事項

本増資は、希釈化率が25%未満であること、支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立した第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

- ① 本増資により割り当てられる募集株式に係る議決権の数=3,580個
- ② 本増資に係る募集事項の決定前における発行済株式に係る議決権の総数=28,958個
(平成22年3月31日現在)
- ③ 希釈化率(①÷②)×100=12.36%

11 発行要項

- ① 株式の種類及び数 普通株式 3,580,000株
- ② 払込金額 1株につき451円
- ③ 発行価額の総額 1,614,580,000円
- ④ 増加する資本金及び資本準備金に関する事項
増加する資本金の額及び資本準備金の額はそれぞれ
809,080,000円、805,500,000円とする。
- ⑤ 払込期日 平成22年6月4日

- ⑥ 募集又は割当方法 第三者割当の方法による新株式発行
- ⑦ 前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。

II 主要株主及び「その他の関係会社」の異動（予定）について

1 異動が生じる経緯

本増資による割当先であるエステーは、本増資により、新たに当社の主要株主である筆頭株主に該当することとなる見込みであります。また、当社とエステーとの資本業務提携契約において、当社がエステーから取締役1名の派遣を受けることが合意されており、平成22年6月29日開催予定の当社第61期定時株主総会において選任される予定です。当該取締役の派遣により、エステーは当社の「その他の関係会社」に該当することとなる見込みであります。

他方、当社の主要株主である筆頭株主であったアース製薬株式会社（以下、「アース製薬」といいます。）は、当社の筆頭株主に該当しなくなる見込みであります。

2 異動する株主の概要

- (1) 新たに主要株主である筆頭株主及び「その他の関係会社」に該当することとなる株主
エステー株式会社

なお、所在地等の概要につきましては、上記「I 本増資について 6 割当先の選定理由等 (1)割当先の概要」をご参照下さい。

- (2) 筆頭株主に該当しなくなる株主

①名称	アース製薬株式会社
②所在地	東京都千代田区神田司町二丁目12番地1
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大塚 達也
④事業内容	家庭用品事業及び総合環境衛生事業等

- 3 異動前後における上記株主の所有議決権数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

- (1) エステー

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (平成22年3月31日現在)	1,400 個 (1,400,000 株)	4.83%	第3位
異 動 後	4,980 個 (4,980,000 株)	15.31%	第1位

※ 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 442,000 株
平成22年3月31日現在の発行済株式総数 29,400,000 株

(2) アース製菓

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (平成 22 年 3 月 31 日現在)	3,457 個 (3,457,000 株)	11.94%	第 1 位
異 動 後	3,457 個 (3,457,000 株)	10.62%	第 2 位

※ 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 442,000 株
平成 22 年 3 月 31 日現在の発行済株式総数 29,400,000 株

4 異動年月日

主要株主及び筆頭株主の異動 平成 22 年 6 月 4 日 (予定)
「その他の関係会社」の異動 平成 22 年 6 月 29 日 (予定)

5 今後の見通し

割当先のエステーは、当社のビジネスパートナーとして永続的な取引関係を構築することを前提に割当株式について長期保有する方針です。また、業務提携の具体的な内容につきましては、本日、当社がエステーと共同で開示しております「エステー株式会社とフマキラー株式会社の資本業務提携に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上